



■大地震を想定した総合防災訓練に約700人が参加

9月1日の防災の日に合わせ、市総合防災訓練が行われました。

訓練では、市内全域で震度7の地震が発生したことを想定。当日、会場を訪れた人のほか、自主防災組織や消防団、医療従事者など市内の関係機関から集まった約700人が参加しました。

市防災広場では、初期消火訓練

や防災用品取り扱い訓練、検索・救出搬送訓練等が行われました。

堀金総合体育館では避難者を受け入れる福祉スペース設置訓練、豊科交流学习センター「きぼう」では避難所運営をゲーム形式で体験するHUG訓練、本庁舎や穂高健康支援センターでは松本広域3市5村合同の医療救護訓練がそれぞれ

行われました。

閉会式で宮澤市長は「災害時の被害を最小限に抑えるためには、自分の身は自分で守る『自助』と地域住民同士が助け合う『共助』が大切。今後も関係機関、団体、市民とが連携し、防災体制の充実強化に努めていきたい」と述べました。



救助者役を搬送する訓練参加者

■第4次行財政改革大綱の策定に答申

市行政改革推進委員会的那須孝会長は8月27日、2月に諮問を受けた第4次行財政改革大綱の策定について答申書をまとめ、市長に提出しました。

今回の答申では、人口減少や少子高齢化などにより、将来の財政状況が厳しくなると予想される中、職員の資質の向上、組織の見

直しによる戦略的な行政経営、行財政基盤の強化と市民満足度の向上を目指すため、3つの基本方針と関連する13の重点的な取り組みを提言しました。

また、行政の取り組み状況が市民に一目で分かるように、目標をできるだけ数値で表すよう指摘しています。



答申書を手渡す那須孝会長（中央）

宮澤市長は「今回提言いただいた内容は、私自身も重要な課題と捉えており、今後の計画策定の参考にし、しっかりと市政へ反映させていきたい」と述べました。

市では答申を受け、来年2月までに第4次行財政改革大綱を策定する予定です。